

農業委員会だより 第75号



発行 印西市農業委員会

編集 農業委員会だより編集委員会

〒270-1396 千葉県印西市大森2364-2 電話 0476-33-4707

地元の委員さんを紹介します。第5地区担当 中村 夏子 推進委員（若萩）

推進委員になって

私は父が兼業で始めたブルーベリー栽培を引き継ぎ、現在は会社勤めをしながら農業に携わっています。ブルーベリーは摘み取り園と直売を中心に営んでおり、現在も両親とともに取り組んでいます。



ブルーベリーの摘み取り

推進委員になったきっかけは、市の広報紙で女性の農業委員・推進委員の募集を知ったことでした。以前から地域の農業に関心があり、何か役に立てればと思い応募し、現在3年目を迎えています。委員の中では比較的若い世代で、最初は不安もありました。周りには親世代の方も多く、活動についていけるだろうかと心配していましたが、先輩委員の皆さんはとても親切で、多くのことを教えてくださいます。仕事と農業との両立で十分な活動ができて

委員の活動について

いるとは言えませんが、委員になったことで地域を見る視点が広がり、たくさん学びを得ています。地域とのつながりを大切にしながら、自分なりの形で地域農業に関わり続けていきたいと思っています。

推進委員として活動する中で、地域の農業が抱える課題を身近に感じるようになった。私の実家周辺でも、高齢化や後継者不足により耕作放棄地が増えています。一方で、意欲的に農業に取り組む担い手の方々もあり、農地を守るうと努力されています。

委員の活動では、農地の利用状況を確認したり、農業者の方々から話を聞いたりする機会があります。地域によって事情はさまざま、一つの方法ですべての課題を解決できるわけではありません。そのため、まずは現状を知り、農業者の声に耳を傾けることが大切だと感じています。

地域の農業を支えているのは、日々農地を守り続けている農業者の皆さんです。活動を通してその大切さを改めて実感しています。子どもの頃から見てきた農地や地域の風景が、この先も変わらず受け継がれていくことを願っています。

女性が活躍するには

私は会社勤めをしながら農業に携わり、小学生二人の子育てもしています。委員会活動に参加する中で感じるのは、女性に限らず、さまざまな立場の人が参加しやすい環境づくりが大切だということです。

仕事や子育て、介護など、それぞれ事情を抱えながら生活している人は多くいます。私自身も限られた時間の中で活動していますが、無理のない範囲で地域に関わることで、自分なりの役割を見つめることができました。異なる世代や立場の人が集まることで、新しい視点や発想が生まれます。女性や若い世代、兼業農家など、多様な人が一歩踏み出しやすい環境づくりが、地域農業の未来につながるのではないのでしょうか。



農業委員の米井さんと

農地等の整備費用への支援 印西市小規模土地改良事業補助金のご案内

小規模土地改良事業補助金

9月1日より受付開始

印西市では、農業者が行う農地整備に対して補助金を交付しています。

① 暗渠排水施設の整備 委託 (上限 50万円) 次のいずれかの低い額を補助 ・1mあたり 1,000円 ・補助対象経費の2分の1以内 自力施工 (上限 25万円) 次のいずれかの低い額を補助 ・1mあたり 500円 ・補助対象経費の2分の1以内 *処分費、燃料費等は対象外	② 揚水施設(新設に限る)の整備 ・共同施工の場合 補助対象経費の2分の1以内を補助 (上限 70万円) ・単独施工の場合 補助対象経費の2分の1以内を補助 (上限 50万円) *処分費、諸経費等は補助対象外	③ 畦畔除去 次のいずれかの低い額を補助 (上限 10万円) ・10aあたり 25,000円 ・1mあたり 400円 *以下の場合には対象外 畦畔除去後の1区画の面積が10アール未満 かつ除去した畦畔の長さが20メートル以下 である場合
---	--	--

対象者・注意事項

ご利用の際はお早めにご連絡ください

○対象者

農業継続意思がある方／税滞納なし／市内在住／土地所有者の同意有 等

○注意事項

① 申請前着工は対象外 ② 予算終了で締切 ③ その他利用要件有

お問い合わせ 印西市役所 農政課振興係 TEL 0476-33-4488

次期農業委員・農地利用最適化推進委員を募集します

現在の委員の任期が、令和9年3月31日を以って満了となることから、新たに農業委員と農地利用最適化推進委員(以下、推進委員)を募集いたします。

募集は、市のHPや広報紙を通じて、令和8年11月より1か月間で予定しています。

応募方法は、団体や個人からの推薦を受ける方法と、自身で申し込む方法があります。

任期は、農業委員・推進委員共に令和9年4月1日からの3年間です。これまで培った経験を活かし、印西市の農業発展に貢献してみませんか。

定員は、農業委員11名、推進委員15名の合計26名で、同時に募集となります。

推薦を受ける方、又は自薦の方の応募資格として、農業に関する識見を有し、農地利用の最適化推進に寄与いただける方を求めています。

農業委員会に女性の力を!!

農業の現場に女性の意見が反映されるよう、全国の農業委員会では女性の登用が推進されています。

国が示す「第6次男女共同参画基本計画」では、農業委員に占める女性の割合について、30%以上を目指すとしています。

女性が一歩前に踏み出す勇氣は、農業の未来を明るく変えるでしょう。

あなたも農業委員会で活躍しませんか。



印西市賃借料情報

令和 7 年度に締結された賃貸借における賃貸借料水準 (10a 当たり) は、以下のとおりとなっております。

1 水田

地区	平均額	最高額	最低額	件数
印 西	¥30,100	¥49,800	¥10,500	17
印 旛	¥36,300	¥50,200	¥31,400	38
本 埜	¥38,300	¥50,200	¥24,400	9

2 畑

地区	平均額	最高額	最低額	件数
印 西	¥11,000	¥14,000	¥10,000	4
印 旛	¥16,800	¥37,800	¥15,000	3
本 埜				事例なし

※金額は、算出結果を四捨五入し100円単位としています。

※水田の賃借料を物納としている場合は、米60kg当たり33,000円に換算しています。

※数値は参考として情報提供するものであり、実際の賃料は、各地区の農地の条件等により異なりますので、貸し手と借り手の両者でよく協議してください。



印西市マスコットキャラクター
「いんざい君」

令和 8 年度 農 作 業 標 準 料 金 表 (千葉県農業会議設定)

作業種目		契約の別	標準賃金	備 考
水田作業		1 日	¥10,600	実労働時間 8 時間
畑作業		1 日	¥10,500	実労働時間 8 時間
果樹収穫作業		1 日	¥9,600	実労働時間 8 時間
耕 起	トラクター	1 0 アール	¥7,500	
代かき	トラクター	1 0 アール	¥7,900	
畔塗り	トラクター	1 メートル	¥44	
植付け	田植え機	1 0 アール	¥10,100	
刈取脱穀	コンバイン	1 0 アール	¥22,000	
乾燥調整		6 0 k g	¥3,600	
育 苗		1 箱	¥990	

※この標準料金は、農作業が円滑に行えるよう目安として設定されています。

※お互いが話し合って納得の上行ってください。

※標準賃金の根拠は、千葉県農業会議「令和 8 年度地域別標準農作業料金」による。

農業者年金に加入しませんか

農業者年金に加入して安心で豊かな老後を

◀ 農業者年金の主な特徴 ▶

- 60歳未満の国民年金第1号被保険者(保険料納付免除者を除く)で、年間60日以上農業に従事している方は誰でも加入できます。
- 保険料は自分で選べ、いつでも見直しできます。
- 月額2万円から6万7千円の間で千円単位で設定できます。
- 税制面で大きな優遇措置があります。
支払った保険料は、全額が社会保険料控除の対象となります。
- 積立方式(確定拠出型)の年金です。
- 終身年金で、死亡一時金(80歳前に亡くなられた場合)があります。

◀ 農業者年金の内容やご相談については ▶

- 印西市農業委員会事務局 (TEL 0476-33-4707)
- J A 西印旛農業協同組合 (TEL 0476-48-2210) または
- (独) 農業者年金基金 (TEL 03-5919-0371) にお問い合わせください。



農業者年金基金の
シミュレーターで
受け取り年金額の
試算ができます!

詳しくは…
農業者年金基金
ホームページ



<https://www.nounen.go.jp/>

農業者年金基金 検索

農地の適正な管理を お願いします!

農地に雑草が繁茂すると、種子が
飛散し病害虫も発生します。また、
イノシシ等の有害鳥獣の棲み処と
なり、農作物に被害を与えるほか、
近隣農地や地域住民への迷惑とも
なります。

農地を所有している方は、定期的
に草刈りをするなど、日頃より適正
な管理をお願いします。

農業委員会への 申請締め切り

▼ 毎月25日

(閉庁日の場合は、
前日の開庁日)

日程が前後する場合があります
ので、詳しくはHPの予定
表をご確認ください。

▼ 事前審査会 毎月上旬

▼ 総会 毎月中旬

編集後記

今年も超々早場米(ミルキーマー)収穫のニュースが流れる時期になりました。

そして、米価の乱高下に一喜一憂する消費者と生産者。また、販売業者は米本体に加え、米袋など包装用品の供給不足や品切れ、値段高騰に頭を悩ませているようです。

農業とは、本当に何と多方面でつながっていることか、改めて認識させられている次第です。

この原稿を書いている最中、台風6号のニュースが飛び込んできました。台風一過もままならず、続いて7号の姿も…。「梅雨」「熱中症」、そのうえ猛暑日ならぬ「酷暑日」という新語まで登場する始末。様々な自然を相手に奮闘する農家のみなさんに敬意を表すると共に、健康第一でご活躍されますよう祈念いたします。

〈押田 正光 委員〉

編集委員長	米井 絹恵
編集委員	五十嵐義弘
編集委員	伊藤 英
編集委員	渡邊 勝久
編集委員	押田 正光
編集委員	中村 夏子